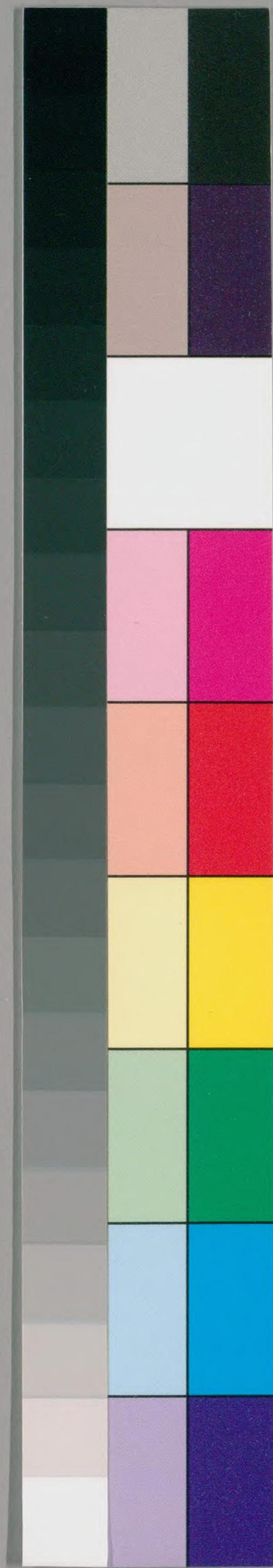


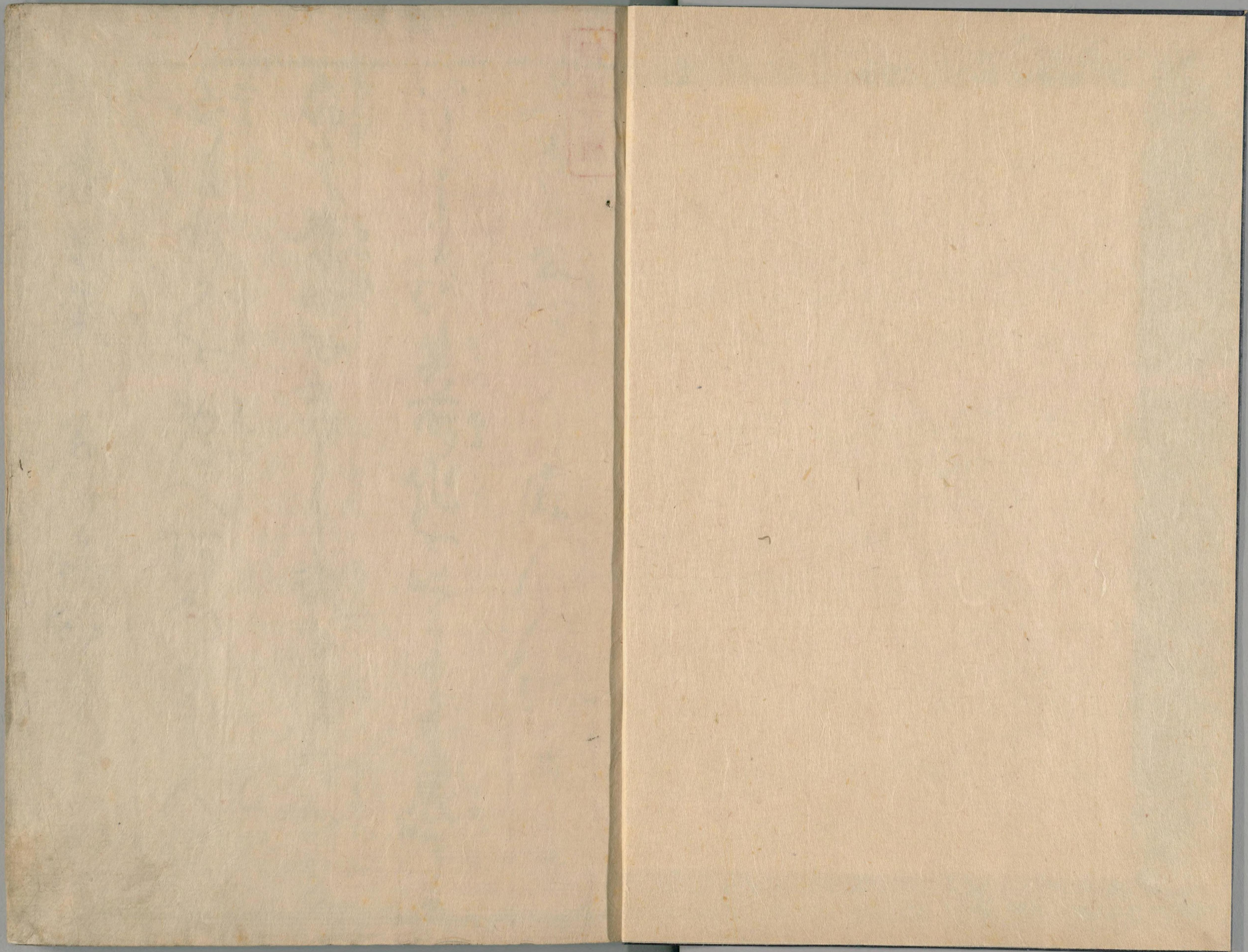
京
7
50

別 13
58
1



国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

ぬきどく人馬の字彙にのりて萬會官奏叙位除目以
下れ公事と云ふ

羽林家 日辻 中島 飛舟井 冷泉 六条 河井 国水

小倉 橋本 松本 姉落 綾小路 庭田 持明院 川路

道井井 水之原 園 難波 白川 田原 徳尾 山科

西之原 池小路 已上二十一家 先従らふ又事と云

之職事残事と云ふはけゆつたはと云ふはと云ふは

名家 日野 廣橋 馬丸 柳永 丹波寺 葉室 万

羽林名家之類 言倉 言辻 又條 坊坊 唐橋 又辻

作内 福小路 大津門 舟橋 已上十家也け中も

家同一家とあり又いふ中納言と持とて或ハ教二位と

と云ふ家もあはれと云ふも少中納言と持とて或ハ

羽林之類と云ふあり

新家 といふ家あり中納言より多くと云ふは

出羽はと云ふ松敵 藪内 堀川 樋口 平松 下冷泉

日野の 藤原 藤原 本堂 久世 花園 栗辻 岩倉 七條

梅園 千種 堀小路 念橋 已上十九家也

又 野宮 大友 伏見 押小路 裏松 物解由路 梅谷 池尻

紫香小路 桂 田向 山本 交野 園池 芝山 長谷 町尻

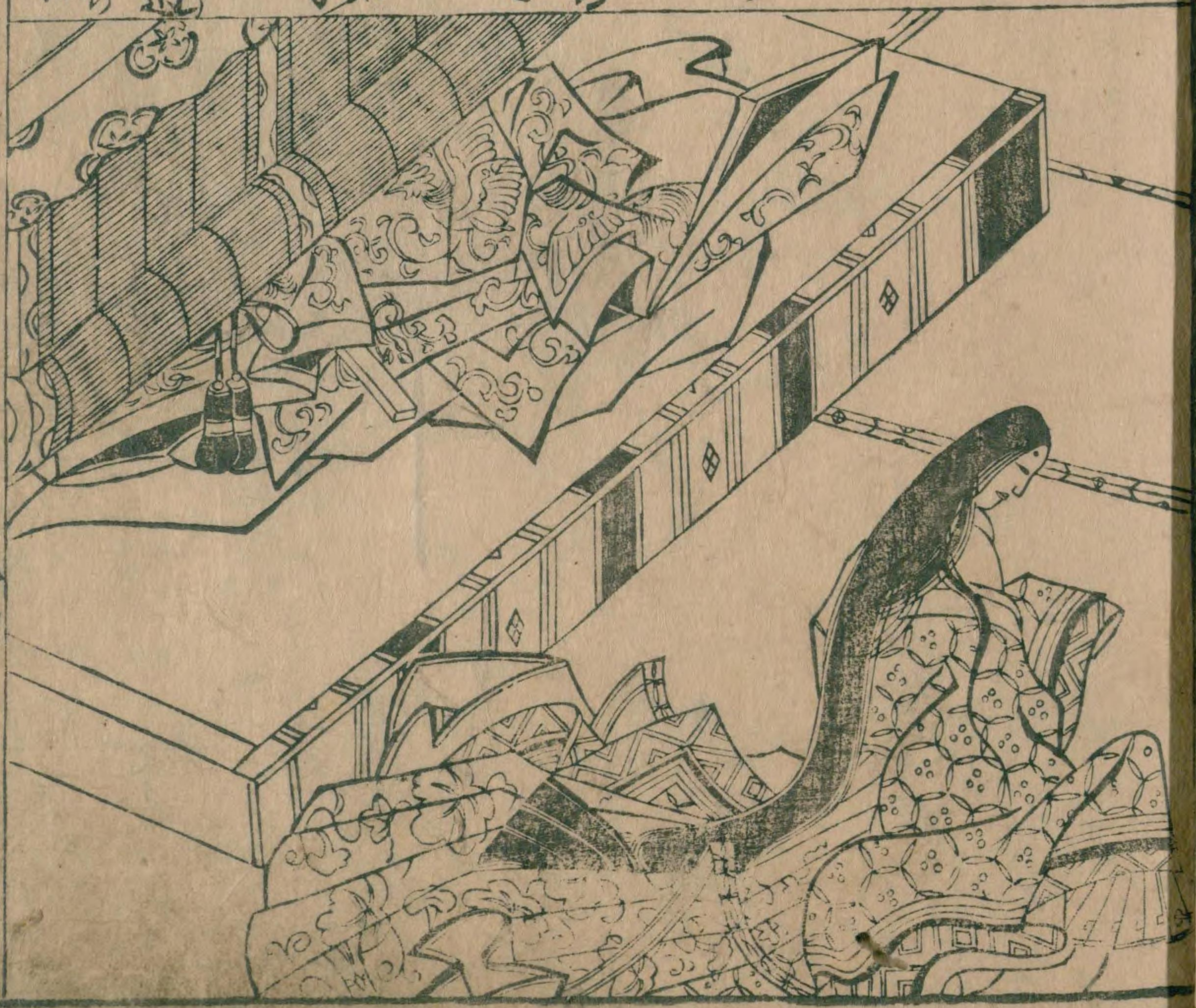
長江 龜谷 電岩 町口 漢屋 月早 東之世 小次 伏見

中川 綱股 首尾 已上二十九家也



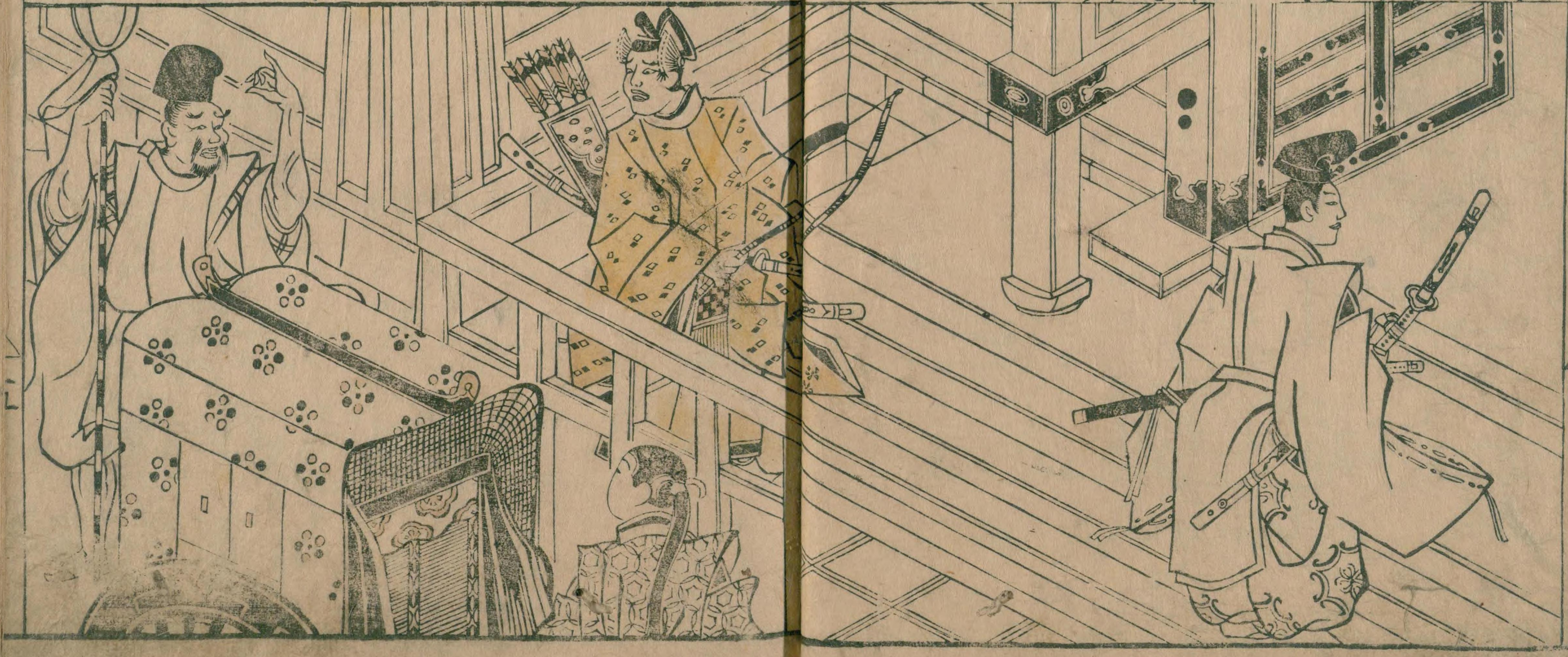
侍司 尚侍けるに
 佐木内膳三信之禁中
 佐木内膳三信之内
 室中より又の上作出り
 事とはささると其外
 禁中礼 武命婦を
 名を彼之内の身と
 勾当内侍との長橋
 婦み長はつゆい長橋
 婦ととも勾当内侍
 ちりて半おの女を
 書との小女 醫師の
 友佐の長内侍の
 上中侍りは御曲侍

甲 堂内侍の
 事内侍の
 法門の
 うまて
 是内侍
 小女
 上高
 是内侍
 ろかり
 書
 り之内
 と書
 佐木
 の女



外遊せしむと久九一切志多
 くの中着此取て下着の徳傳
 たる衆日吉等の法司等も
 女なり元女方の上着小上
 着の内侍の衣後法衣より
 袴袴の内みりつひ只中着
 と袴袴の縁よとて下着の
 こてた法衣あまよふも
如場 或法衣なり織る扱
 法衣中れ法衣とて法衣の
 後とて法衣に選衆女刀自難仕
 上事下仕法衣とて女官
 の衣と織原抄了織る
 娶と

真様 法衣指と家の内室
 衣指指とつて 法衣指と
 家の内室 法衣指と
 家の内室に初がしり衣指と
 けとつてとつてとつて
世見 と家の内室とつて
とつて 婚着とつてとつて
法衣人 法衣の徳と
 よふとつてとつてとつて
 法衣人とつて **婆** 知人
法衣道 法衣の徳と
柔小徳 法衣の徳と



浪徳元 ろなげん ろなげんがまへ

ととどろ ととどろ ととどろ

浪揚師 ろなげん ろなげんがまへ

お縫 おぬい おぬい

お糸 おいと おいと

中どろ なかどろ なかどろ

ろなげんがまへ

お女 おんな おんな

お返 おへん おへん

お女 おんな おんな

小児 こども こども

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

祖父 おじい おじい

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

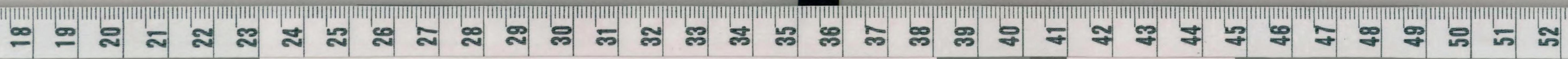
お女 おんな おんな

お女 おんな おんな

お女 おんな おんな



徳家よのりて替り
 中お膳 わかから
 替りては内より使
 後とてつらゆきま
 児小性 然人のひそ
 風俗かくれな
 児小性 然人のひそ
 して百俵も人
 兵上中へよま
 思ふにま
 人よのりて
 写画 一の海

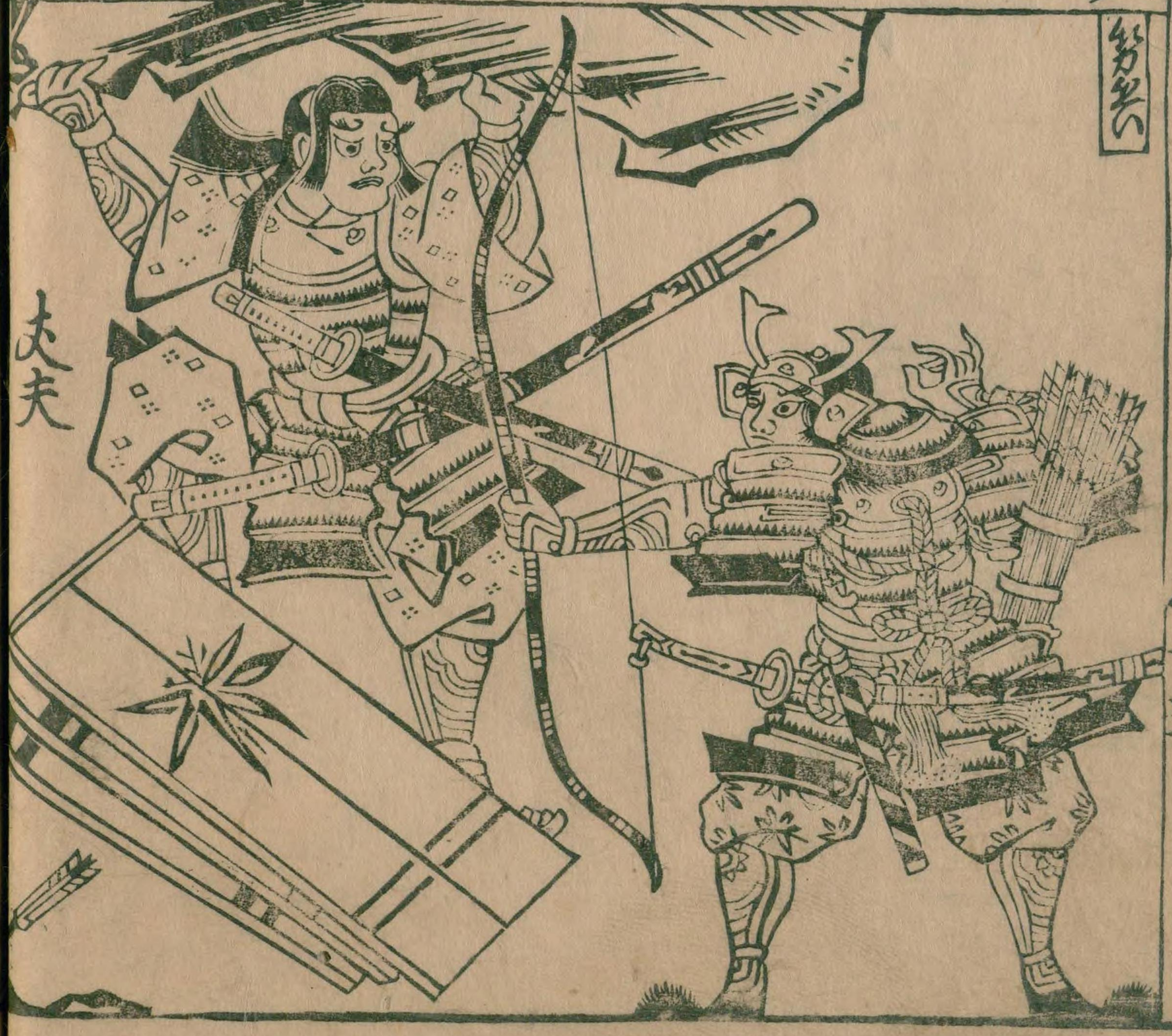


持持

大なる毛野の

かつて中へ入るはかかれど大
男に去くはあくひも難に
毛中へ登り抜子一風あり
何れも丈丈のたのむ
とと米一とほつた中
かあて進くはせとてさよ
かへるも向同とあはれ
才の系後採 小の系後採
登るは系後採あはれよ
うへへあつてさよと
さよとさよとさよとさよと
さよとさよとさよとさよと

勢



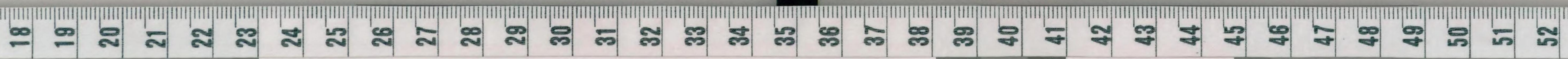
大夫

わさびごはめあつたのよ
勢とあつて風俗ど
あつてあつてあつてあつて
わさび

水手者

家

大男尻の尻尻尻尻上
さよとさよとさよとさよと
さよとさよとさよとさよと
水手者 家
さよとさよとさよとさよと
さよとさよとさよとさよと
さよとさよとさよとさよと
さよとさよとさよとさよと



法家 始老 徽宗 仁宗

法親 阿闍梨 天竺

法言 法相宗 天竺

法護 法華にちしゅうりゅう

法くわん 法親あり 法親

法てん 法勝傍に 法

法しん 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

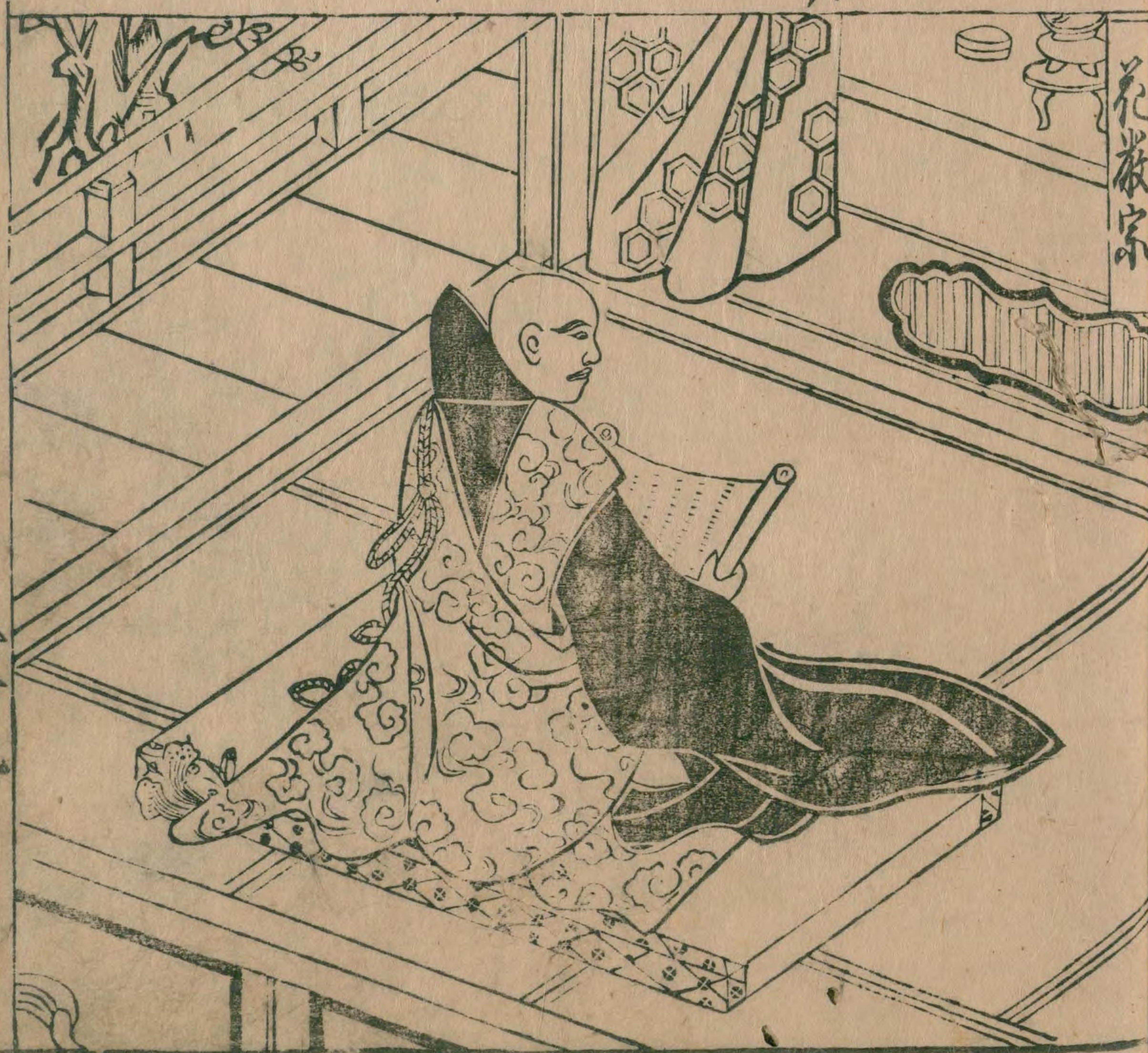
法たけな 法まゝに 法

法たけな 法まゝに 法

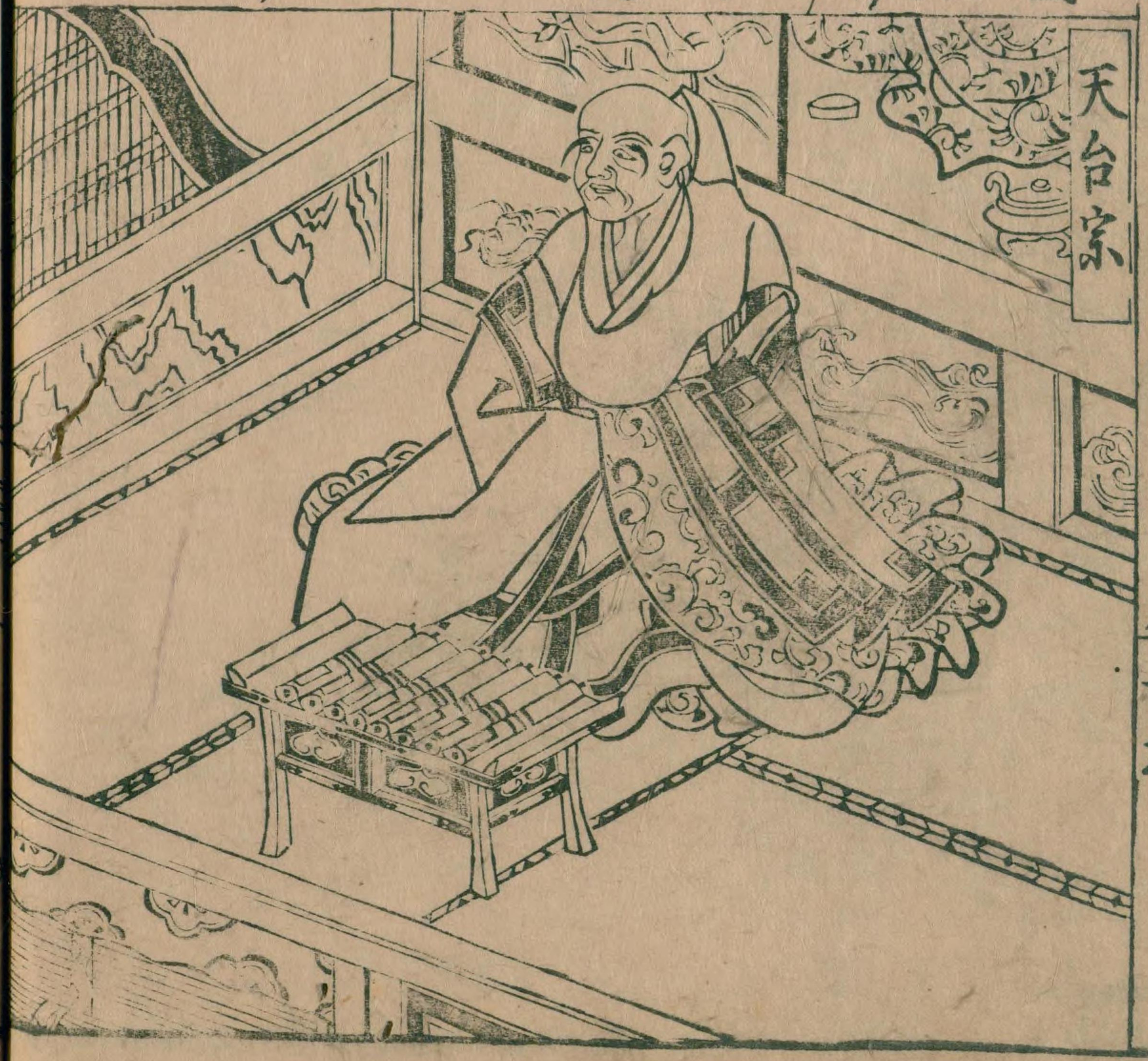
律宗



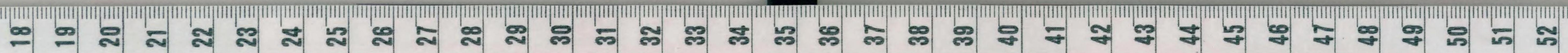
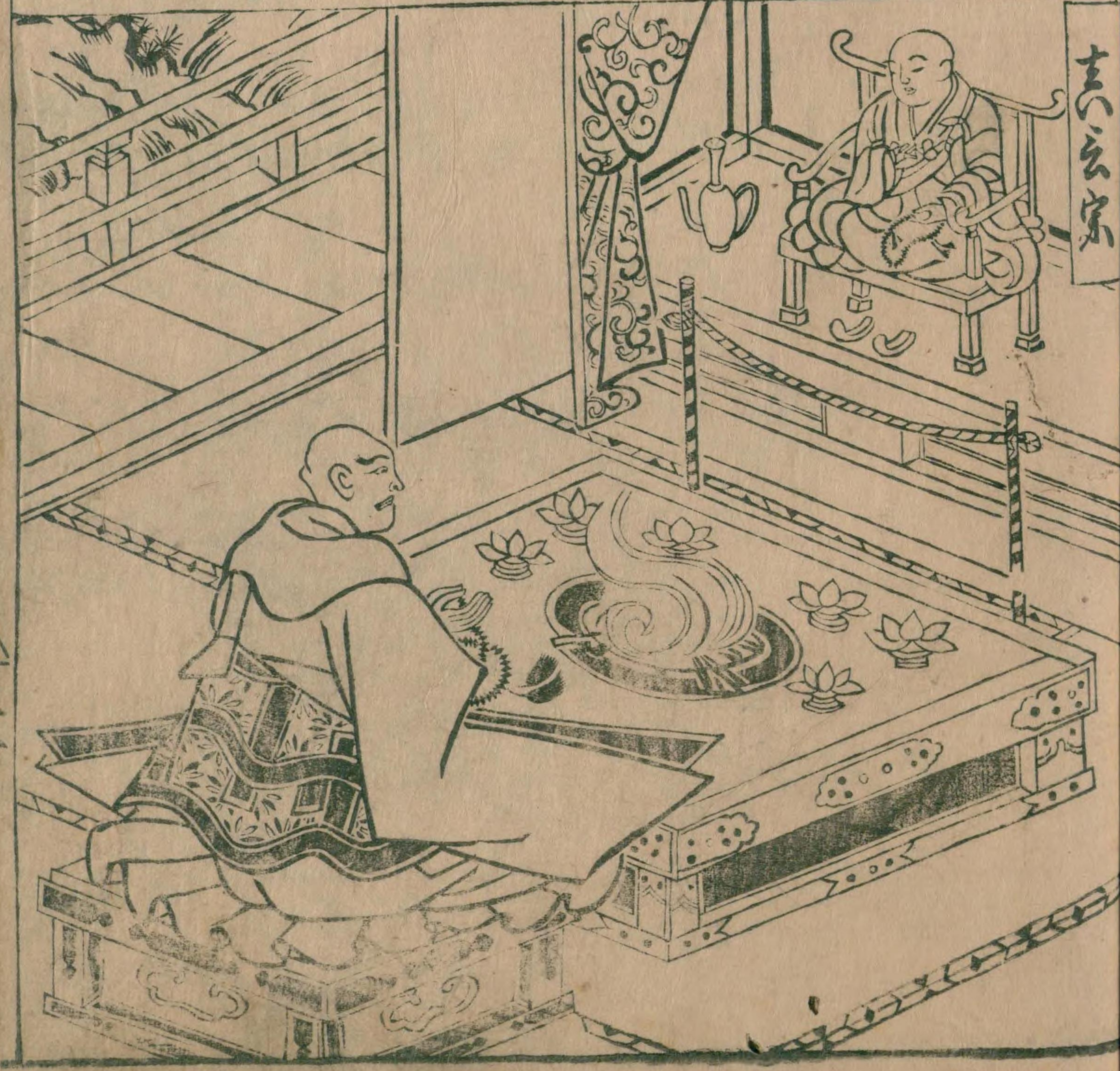
花教宗



成宗 天竺 法摩三
 花の石まへに會て十三
 代元明天皇和銅三年
 本に書よつろ小宗
 の宗あり 律宗 久
 竺菊とて三層の西急
 人白里早代えん天
 皇の勅詔を以て年丁
 じよめ敷いしころん
 律よ大業小宗あり
 用らるる律三大法四か
 律よ公律あり



花嚴宗 震旦花嚴宗
 尚の不振へ人白里早代
 代春徳の白里早代
 字乙午甲午に乙番
 小海くく良并後以始て
 真に用らるる花嚴宗
 天台宗 久竺志文律師
 南岳志文大師久白
 智者大師ありの不振へ
 目取はてハ担氏久白の
 延暦元年乙酉の書
 よ海く傳教大師とて



眞言宗 南天竺菩提
釈迦牟尼之入會宗代
振身大皇大同元年丙
辰二月八日教にこれより
転じて入法華經を弘
び那の不全剛頂經大
胎藏經を

眞言宗 南天竺菩提

釈迦牟尼之入會宗代

振身大皇大同元年丙

辰二月八日教にこれより

転じて入法華經を弘

び那の不全剛頂經大

胎藏經を

摩訶師の西多入會八

十三代去涉つ成り内建

仁二年壬戌の九教に

佛の立文あり

眞言宗 淨土宗二世

陽元琦授仰 後光明院

兼在三年癸巳大廣後別

黄檗山より来觀して山

城に宮治郡より新に黄檗

山を移して創して別開

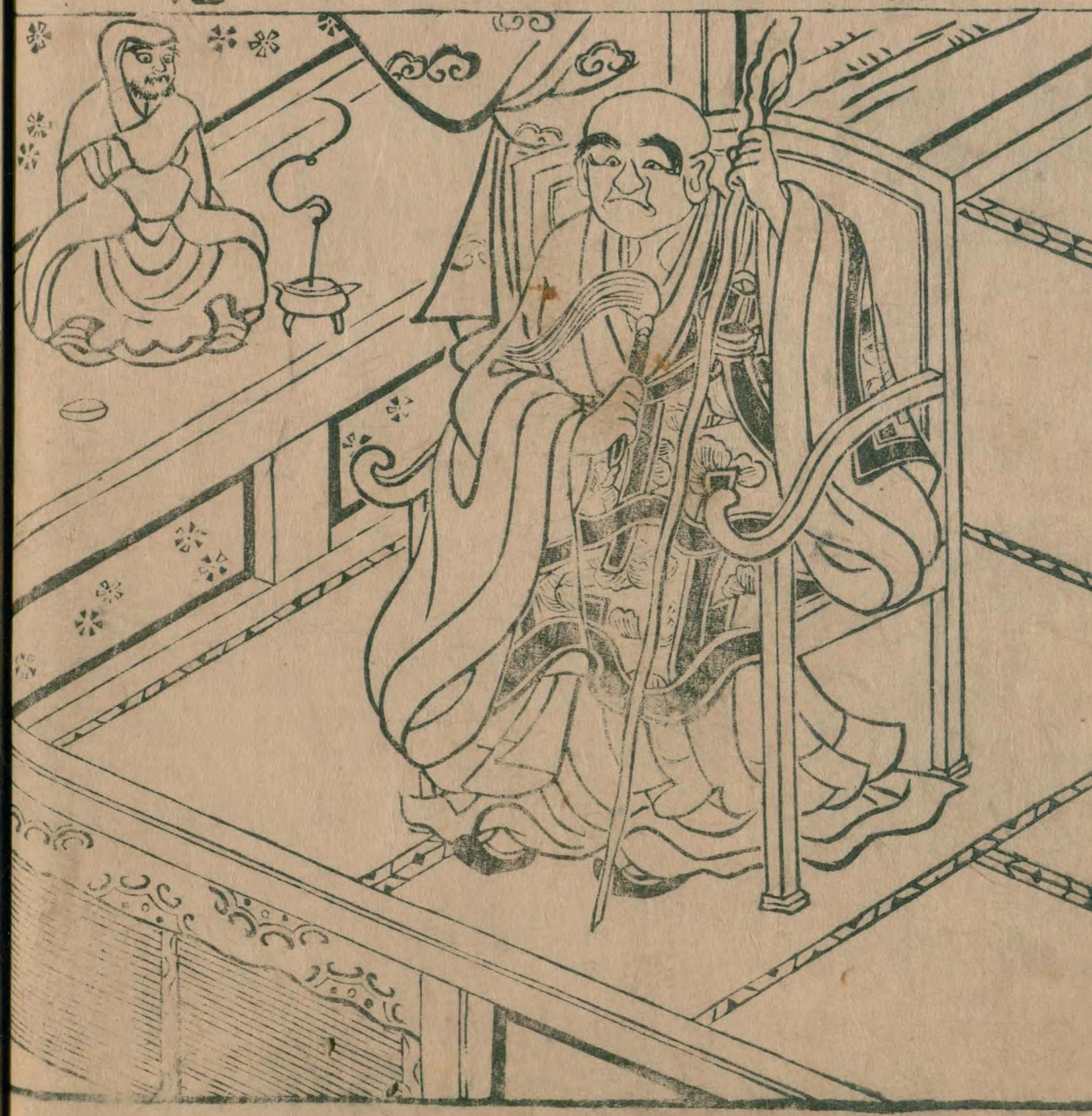
山と号す代本居瑞祥師三

世惠林授仰世福徳

堂授仰なり

淨土宗 入會八十二代

禪宗



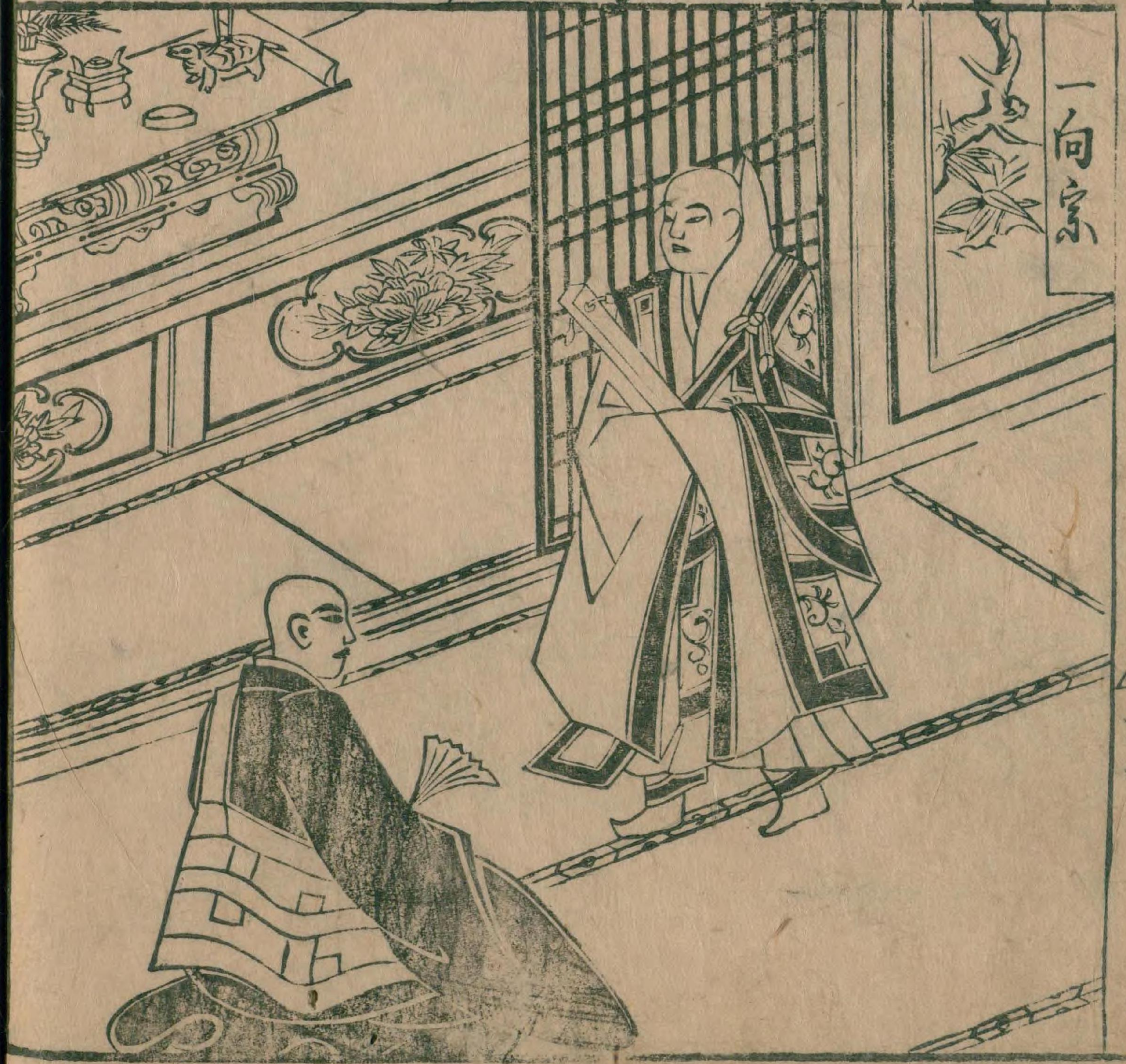
淨土宗



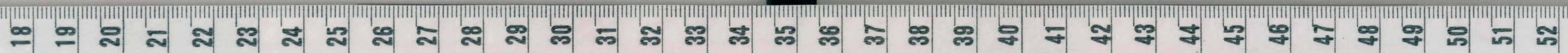
七一



故を推院建久の年甲寅
 寅の法皇上人の御成
 那の不浄去三法修系
 若道守人師 歌修の歌
 忠心得却れ法生る
 集あへ 一向宗 三書
 此不立之 依修淨土よ
 即一初之不和後修
 此書の修の修へ
 法花宗 人倫 八十六代
 多念院 養安元年 幸
 和国連上人 不立之
 修修 修修 修修



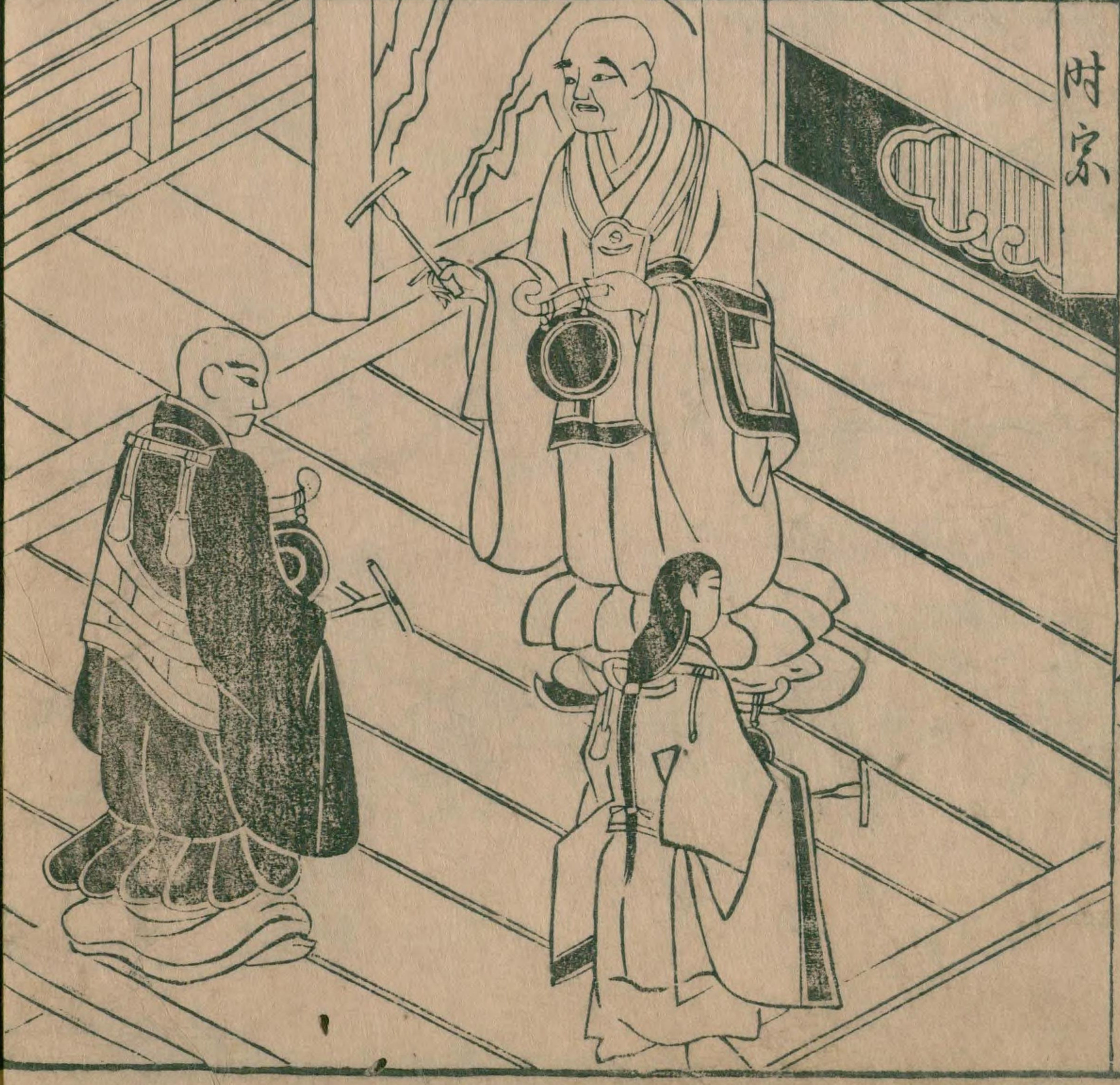
一家にかわくを法花
 教書のりの法書と
 人倫 八十九代 法花宗
 院 建久の年 三月廿日
 わるいよむひてつらひ
 らめなまひひさり
 時宗 一編 上人の御成
 修修 修修の修修
 以て 回國の修修 一書
 此書の修修 依修淨土
 一書 一書
 修修 修修 修修
 修修 修修 修修



十戒を潔くしつゝ
ゆるぎなく
あまの御孫と
比丘 潔くしつゝ
八戒入り二百
戒しつゝ戒比丘
り
比丘尼 潔く
尼とつゝ 優婆塞
俗の戒とららば道
のつゝ

居士 俗戒めては
入戒を潔くしつゝ
能化 俗をふり
の目めては化は
え指す多し
徳化 孝同徳とつゝ
卒像 俗の俗
しつゝ卒像とつゝ
戒像 俗をふり
よもふれれ入万
まよふもつゝ
ふ道中一に邪
とららひ又ハ

比丘尼



時宗



居士

比丘尼



寄別
京
7
50



別13
58
1

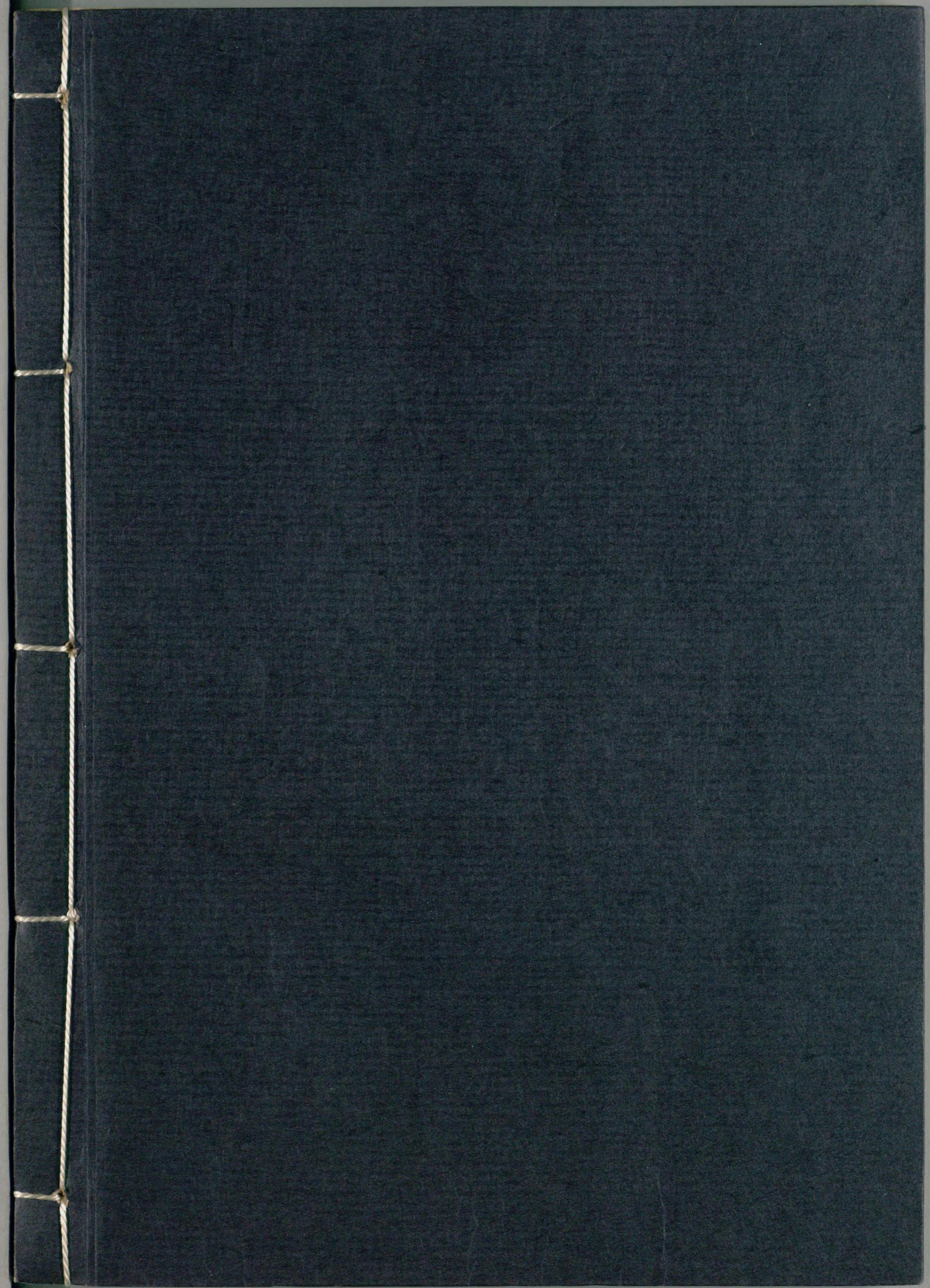


Handwritten Japanese characters in black ink, located in the bottom right corner of the right page. The characters appear to be '人倫訓蒙図彙'.



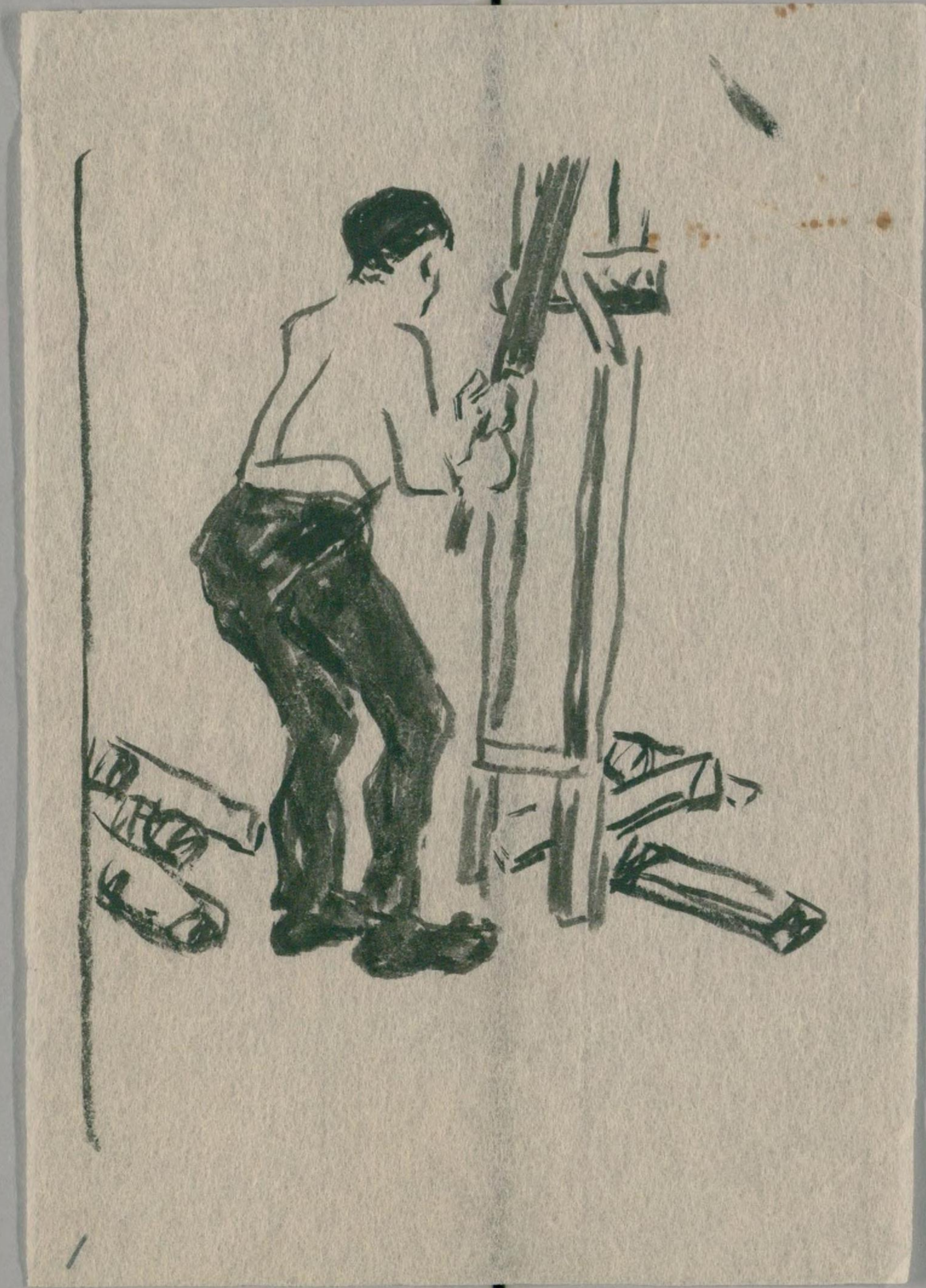
国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル 『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用 挟み込み物

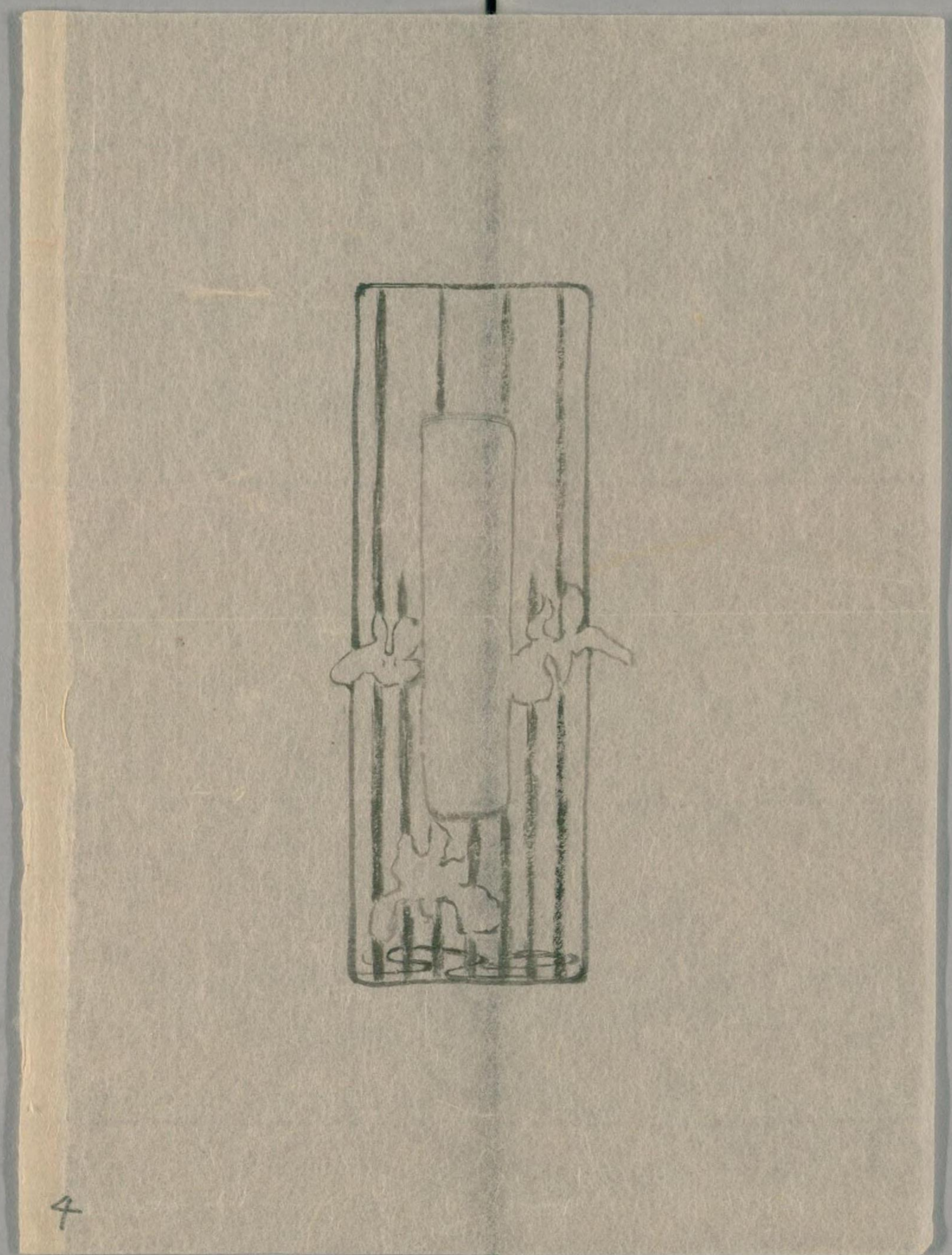


国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用

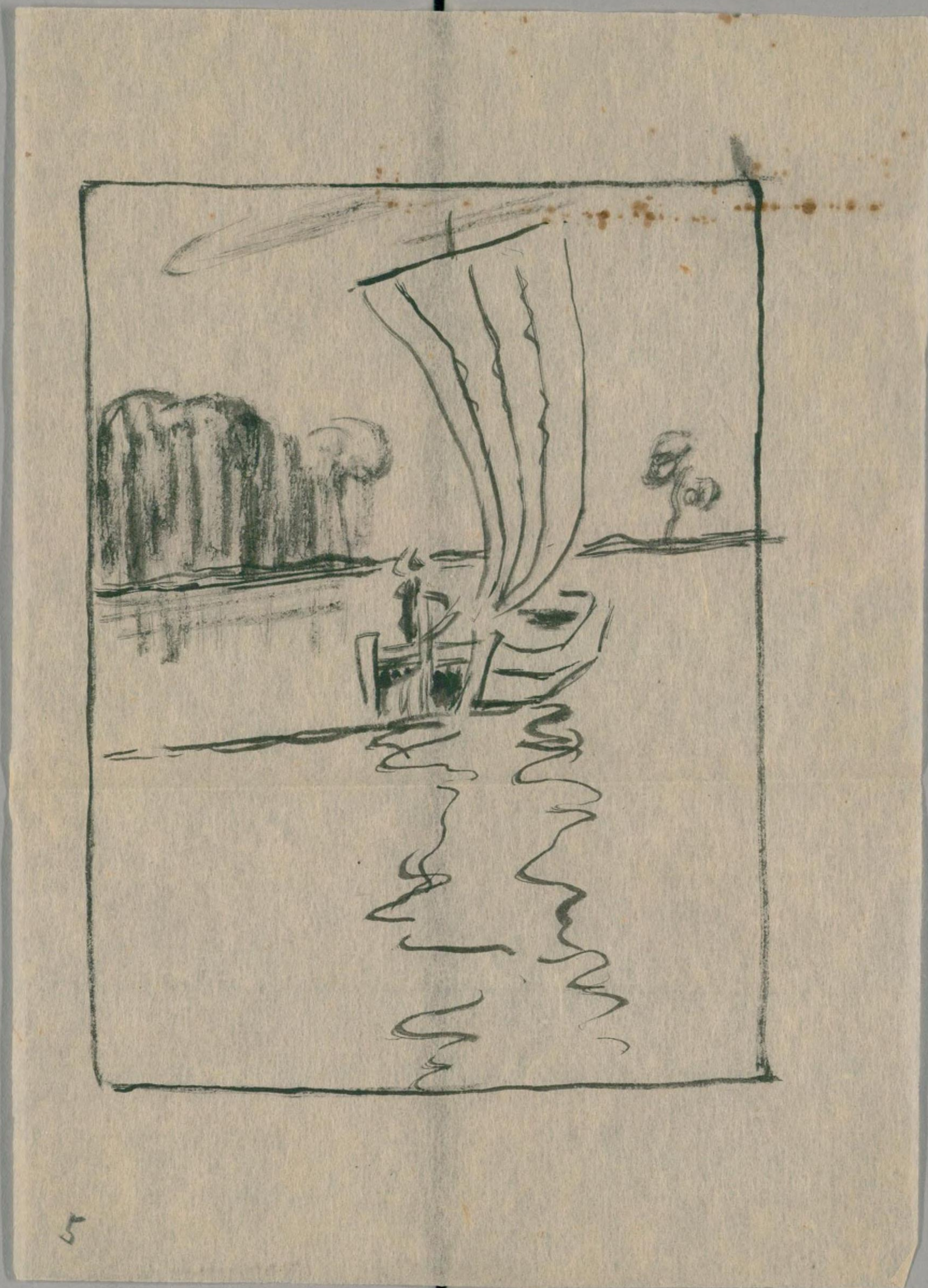
挟み込み物





国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用 挟み込み物



5



国立国会図書館 タイトル『[人倫訓蒙図彙] 7巻』 請求記号 寄別13-58

ガラス使用 挟み込み物





agasias カ士の骨格

7



小春日知



9



10止